

施策59 農林業の保全・育成

施策における目標

営農環境の保全、特産品の育成や、農業祭の実施などによる農林業の保全・育成に努めます。

施策概要

農業者の営農意欲を減衰させる有害鳥獣被害の防止、地域特産品の育成をはじめとする地産地消への取り組み。

想定される主な取り組み

- ・有害鳥獣による被害防止等営農環境の保全を図る。
- ・農業祭や朝市などによる地産地消の推進を図る。
- ・枇杷、栗、山椒をはじめとする地域特産品の生産量を拡大する。

第2期実施計画における総評

・農業者の営農意欲を減少させ遊休農地増加の遠因となりかねないシカ、イノシシ、アライグマによる農作物被害への対応に力点をおいて農林業の保全に努めているが、対症療法的な対応しかできず抜本的な対策がないのが現状である。

・農林業の育成策として、農業祭における地域特産品のPRや平成18年8月に駅前にオープンした箕面市農業経営者連絡協議会役員を主体とする朝市への支援など地産地消の推進に努めている。

施策60 新産業の振興

施策における目標

市民生活に利便性を確保するような新産業の振興を支援します。

施策概要

ベンチャー企業やSOHOなど、新産業の企業に対する情報提供等の支援。

想定される主な取り組み

- ・各種情報の提供や事業補助を通じて、新産業に携わる事業者、商工団体等を支援し、新産業の振興を図る。
- ・就労対策としての企業支援講座や各種の制度PRを通じて、企業への意欲の向上を図る。
- ・国・府における創業・経営改革支援事業等について、大阪府豊能地域中小企業支援センターや箕面商工会議所との連携を図り、制度の活用やPRを行う。

第2期実施計画における総評

・箕面マルチメディア・ラボに関する事業は、高度情報化社会への対応には寄与したが、新産業の振興に寄与できず、平成16年度で終了した。

・平成14年度から取り組みを開始したデジタルヒューマン産業創成に関しては、平成15年度にシンポジウムを開催し、全国から多数の参加を得たが、その後、実証実験のための拠点整備に至らず現在に至っている。

・その他、新産業の振興も視野に入れた取り組みを行ってきたが、実状として振興すべき新産業の業種及び契機を見つけることができていない状況であり、今後も長期的な視野のもと、継続的に取り組む必要がある。

・新産業の振興については、産官学による連携が重要であるが、とりわけ起業家や企業における新産業に対する意欲が不可欠であることから、萌芽の時期や内容について今後とも注視しながら有効な施策の構築を行う必要がある。